

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券ファンド 2016-09<為替ヘッジあり>」は、信託約款に基づき、2019年11月15日をもちまして償還を迎えました。当ファンドは主として金融機関・公益関連を中心とした世界の企業が発行しているハイブリッド証券（劣後債・優先証券等）に投資し、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指しました。また、実質組入れの外貨建て資産については、為替変動リスクを回避するため、原則としてマザーファンドにおいて為替のヘッジを行いました。ここに、運用状況および償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成期の状況

償還価額（当作成期末）	10,324円76銭
純資産総額（当作成期末）	1,418百万円
騰落率（当作成期）	0.2%
分配金合計（当作成期）	0円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記＜お問い合わせ先＞ホームページの「ファンド一覧」の「償還ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書 満期償還

パインブリッジ 金融公益 ハイブリッド証券 ファンド 2016-09 <為替ヘッジあり> <愛称：グッド・ブリッジ 16-09>

単位型投信／内外／その他資産
（ハイブリッド証券）

第7作成期
（2019年8月16日～2019年11月15日）
第12期（償還日：2019年11月15日）



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

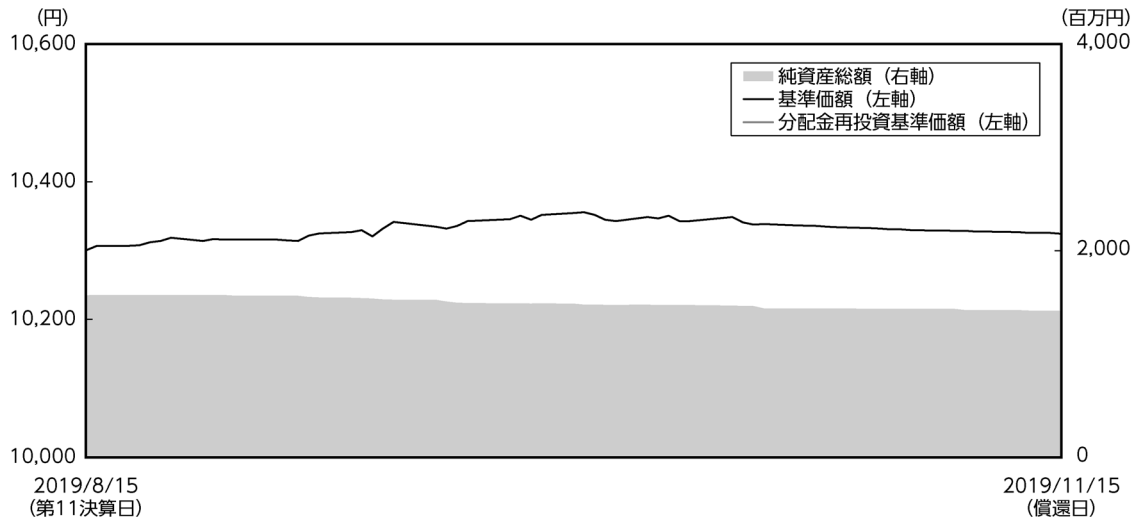
電話番号／03-5208-5858

（受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く））

ホームページ／<https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2019年8月16日～2019年11月15日)

基準価額等の推移



第12期首：10,301円

償還日：10,324円76銭

(作成対象期間中の既払分配金：0円)

騰落率：0.2% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは作成対象期間中の既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。
※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象であるパインブリッジ金融公益ハイブリッド証券マザーファンドを通じて保有しているハイブリッド証券の価格が横ばいとなった一方で、保有ハイブリッド証券のインカム収入を得られたことが主なプラス要因となり、基準価額は小幅上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項 目	第12期 (2019.8.16～2019.11.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	38円	0.368%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,334円です。
(投信会社)	(19)	(0.180)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(19)	(0.180)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.008)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 (ハイブリッド証券)	0 (0)	0.004 (0.004)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (ハイブリッド証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	0 (0)	0.002 (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合 計	38円	0.374%	

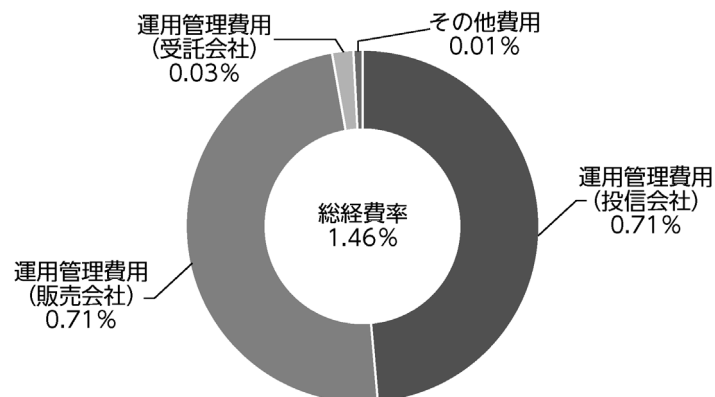
※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※消費税は報告日の税率を採用しています。

<参考情報> 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46％です。



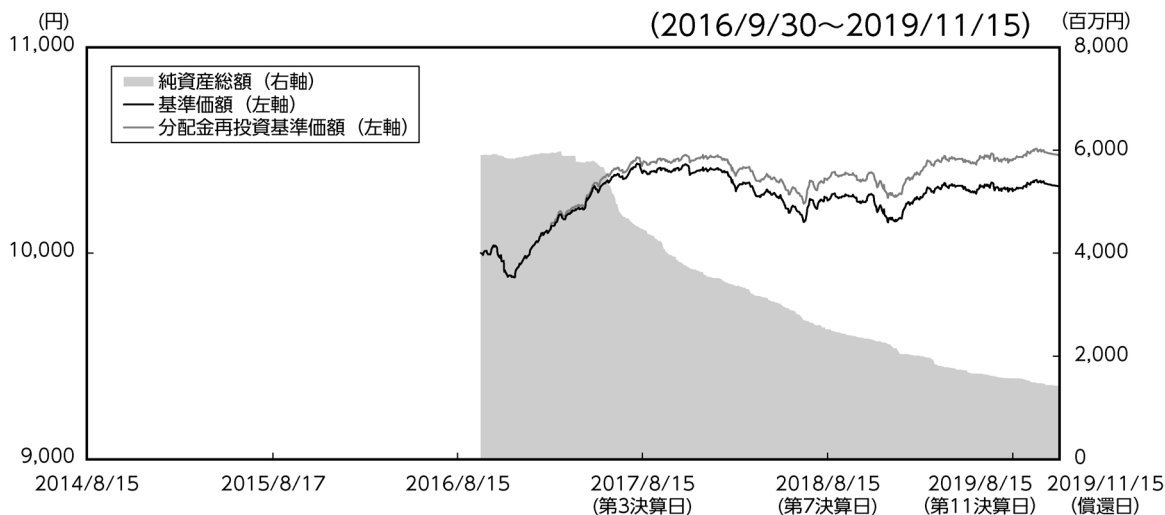
※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

			2017/8/15 決算日	2018/8/15 決算日	2019/8/15 決算日	2019/11/15 償還日
基準価額 (円)			10,389	10,255	10,301	10,324.76
期間分配金合計 (税込み) (円)			45	60	45	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)			4.3	△0.7	0.9	0.2
純資産総額 (百万円)			4,463	2,520	1,569	1,418

※2017/8/15決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

※2019/11/15償還日の騰落率は、2019/8/15との比較を表示しています。

投資環境について

当作成期のハイブリッド証券市場は、前作成期末比でほぼ横ばいとなりました。作成期首から8月末までは市場のリスク回避姿勢の中、米国の長期金利低下を背景に上昇しましたが、9月以降は、米中貿易交渉の進展期待に伴うリスク選好の動きに伴い米長期金利が上昇したことなどを受け上昇幅は縮小しました。

ポートフォリオについて

<パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券ファンド 2016-09<為替ヘッジあり>>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2019年11月15日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

<パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券マザーファンド>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2019年11月14日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

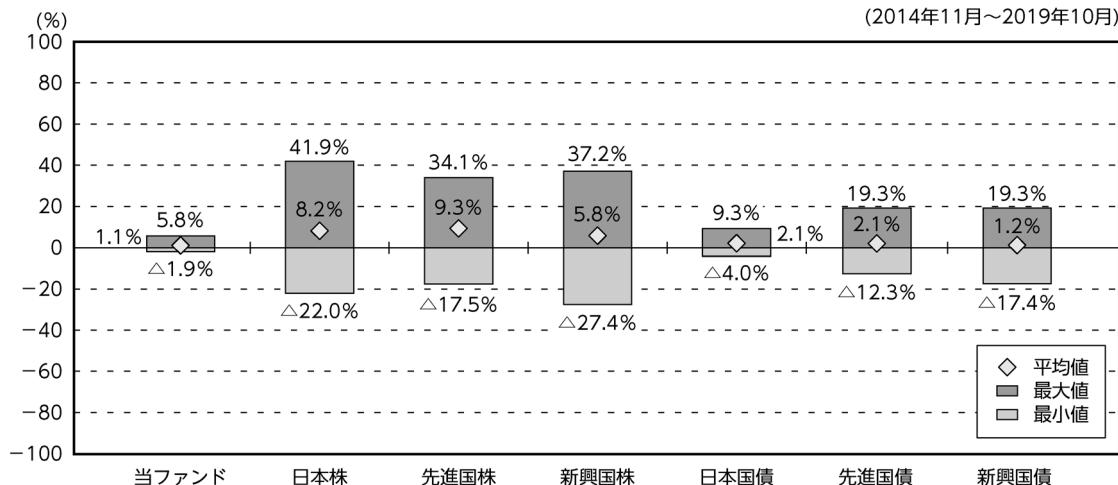
ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク等はありません。

当ファンドの概要

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	2016年9月30日から2019年11月15日まで	
運用方針	・ パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券マザーファンドへの投資を通じて、主として金融機関・公益関連を中心とした世界の企業が発行しているハイブリッド証券（劣後債・優先証券等）に投資し、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 ・ 原則として、実質的に投資するハイブリッド証券は、当ファンドの償還日前にコール（繰上）償還や定時償還が設けられている銘柄とします。 ・ 実質組入れの外貨建て資産については、為替変動リスクを回避するため、原則としてマザーファンドにおいて為替のヘッジを行います。 ・ マザーファンドの運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用に関する権限を委託します。	
主要投資対象	パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券ファンド 2016-09 <為替ヘッジあり>	パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券マザーファンドを主要投資対象とします。
	パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券マザーファンド	金融機関・公益関連を中心とした世界の企業が発行しているハイブリッド証券（劣後債・優先証券等）を主要投資対象とします。
運用方法	パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券ファンド 2016-09 <為替ヘッジあり>	・ 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・ 外貨建て資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券マザーファンド	・ 株式への投資割合には、制限を設けません。 ・ 外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年2、5、8、11月の各15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

<参考情報>代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2014年11月～2019年10月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2016年9月30日設定のため、2017年9月から2019年10月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数（TOPIX）配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年11月15日現在）

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

項 目	第12期末
	2019年11月15日
純資産総額	1,418,671,488円
受益権総口数	1,374,048,226口
1万口当たり償還価額	10,324円76銭

※当作成期間（第12期）中における解約元本額は149,406,005円です。

組入ファンドの概要

パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券マザーファンドの組入資産の内容（2019年11月14日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項 目	
売買委託手数料	0円
(ハイブリッド証券)	(0)
有価証券取引税	0
(ハイブリッド証券)	(0)
その他費用	1
(保管費用)	(1)
合 計	1円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。